

願いをもち 仲間と共に 夢中になって取り組む子

・学び合い（確かな学力） ・思い合い（豊かな心） ・鍛え合い（健やかな体）

願う児童の姿

- ・学級や学校をよくしようとする願いをもち、仲間とより楽しく豊かな学級や学校の生活を築くための方法を考え、協力して取り組む子
- ・学級や学校の生活の問題を自己の問題としてとらえ、改善の方法について話し合い、よりよい自分づくりに向けて、粘り強く努力する子
- ・自他のよさを認め合い、なりたい自分に近づくために自分に合った目標や方法を意思決定し、主体的に学習や生活に取り組む子

児童の実態

- ・学級や学校の生活をよくしたいという願いをもち、折り合いをつけて合意形成を図り、実践する力が身に付いてきたが、実践が学級集団の高まりに繋がるという認識が弱い。
- ・改善の方法について話し合い、目標を設定することができるが、学級や学校の生活の問題を自己の問題としてとらえる意識が低いため、継続して実践する力が弱い。
- ・自己を肯定的に自覚し、仲間の姿に憧れを抱くことができるが、自分に合った具体的な個人目標を意思決定し、主体的に学習や生活に取り組む力が弱い。

研究主題

自ら仲間とかかわり合い 豊かな生活をつくり出す子どもの育成

～居場所と絆づくり、自己実現につながる 学級活動を通して～

研究仮説

児童が自主的・実践的に取り組むことができるような、必然性のある題材・議題を設定し、工夫のある事前・本時・事後の活動を仕組んだ上で、本時において個人目標を意思決定したり、集団として合意形成を図ったりするための適切な指導・援助を行えば、望ましい人間関係を形成するとともに、自己指導力、自己実現力、自治的能力を高めることができる。

学年部の研究主題

低学年	中学年	高学年
みんなと仲よくし、 楽しいくらしを つくり出す子どもの育成	仲間と協力し合って、 よりよい学級のくらしを つくり出す子どもの育成	仲間を信頼し支え合って 豊かな学級や学校のくらしを つくり出す子どもの育成

研究内容

I 自主的・実践的に活動するための指導構想の工夫	II 課題解決するための本時の指導・援助の具体化
① 目指す姿に迫るための事前・本時・事後の活動の工夫 ② 自己実現の力を育むための学級活動ノート の工夫	① 解決の見通しをもつための資料提示の工夫 ② 主体的で効果的な話し合いにするための 指導・援助の工夫